

Google タグマネージャーを使用した Javascriptタグの設定方法

本仕様書では、 Google タグマネージャーを用いたアクセストレードの**Javascriptタグ**の設定 方法をご案内致します。

設定頂くタグの詳細については、<u>Javascriptタグ導入仕様書</u>でご案内しておりますので併せて ご確認ください。

※注意事項

Google タグマネージャーを使用する為の準備・設置が完了している事を前提と致します。 また、本仕様書の内容については一例であり、実際の設定は広告主様のサイト環境により異なる場合がございます。 実際の設定については、広告主様のサイトの仕様に沿った設定をご確認の上、ご対応頂けますと幸いです。 Google タグマネージャー側の仕様や設定方法に関しては、Google社の<u>公式ヘルプ</u>をご参照頂けますようお願いいたし ます。

※本ページの内容は2023年11月時点のものです。 今後Googleタグマネージャーの仕様変更により、設定手順が変更となる可能性もございますで、予めご了承下さい。



- 1. LPタグの設定
- 2. 変数の設定
- 3. CVタグトリガーの設定
- 4. CVタグの設定
- 5. データレイヤーに変数を受け渡す設定
- 6. GTMのプレビューモードにてタグの出力テストを実施
- 7. バージョンの作成と公開
- 8. 成果テストの実施

メニュー「タグ」から「新規」ボタンを押します。

②タグの設定

- ・タグの種類:「**カスタムHTML**」を選択します。
- ・HTML:アクセストレードのLPタグを設定します。

▼LPタグ

<script src="https://h.accesstrade.net/js/nct/lp.min.js"></script>

③トリガーの設定

- ・トリガーの種類:「ページビュー」を推奨しております。
- ・このトリガーの発生場所:「**すべてのページビュー**」を選択 します。
- ※トリガーの種類は広告主様のサイト仕様に沿って、任意の項目を選択下さい。 トリガーの詳細は<u>公式ヘルプ</u>をご参照下さい。

▼設定例 × LPタグ 保存 タグの設定 タグの種類 カスタム HTML <> カスタム HTML タグ HTMI (2) 1 <script src="https://h.accesstrade.net/is/nct/lp.min.is"></script></script></script></script> (2 トリガー + 配信トリガー $(\mathbf{3})$ All Pages ページドュー 0 0 例外を追加

以下はアクセストレードのトラッキングに使用する変数の一覧です。 発行されたタグに合わせて、それぞれ変数をご設定ください。

変数名	定額	定率	商品個別	説明	注意事項
verify	必須	必須	必須	注文番号などの1購入毎にユニーク値	個人情報では無い、1登録毎または1ユーザ毎 のユニーク値をご設定ください。
value		必須		送料と消費税を除いた小計	3桁カンマを含まない半角数値をご設定ください。
vi			必須	商品IDと商品数量と商品単価をドット を区切りとした文字列	(例)100円の商品A(商品ID:aaa)を1個と、 2,000円の商品B(商品ID:bbb)を2個 購入した場合は以下のようにご設定ください。 "vi" : ["aaa.1.100","bbb.2.2000"]

メニュー「変数」からユーザー定義変数の「新規」 ボタンを押します。

②変数のタイプ

「**データレイヤーの変数**」を選択します。

③データレイヤーの変数名

P5の通り必要な変数名を設定します。

④変数のタイトル

「データレイヤーの変数名」と同じ内容を設定します。

※画像は変数名を「**verify**」とした場合の設定例です。 ※データレイヤーの変数を使用する場合は、本ページのGoogleタグマネージャー での設定の他に、サンクスページでのデータレイヤーの設定が必要です。(参照:<u>P12</u>)

	殳定依	列(verifyの場合	合)				
×	verify	′ <u>4</u> □				保存	:
		変数の設定			 		
		変数のタイプデータレイヤー	-の変数	2	/		
	I	データレイヤーの変数名 ⑦ verify		3			
		データレイヤーのバージョン バージョン 2	•				
		> 値の形式 ②					

メニュー「トリガー」から「新規」ボタンを押します。

②トリガーの設定

- ・トリガーの種類:「ページビュー」を推奨しております。
- ・このトリガーの発生場所:「**一部のページビュー**」を選択します。
- ・右記画像を参考にサンクスページのURLを設定します。
- ※トリガーの種類は広告主様のサイト仕様に沿って、任意の項目をご選択下さい。 トリガーの詳細は<u>公式ヘルプ</u>をご参照下さい。

19グ 🗅			保存
トリガーの設定			
トリガーのタイプ			
ページビュー			1
このトリガーの発生場所		2	_
	- 💿 一部のページビュー		
イベント発生時にこれらすべ	ての条件が true の場合にこのトリガーをi	記信します	
Page LIRI	★頭が一致	http://merchant-	site.com/thanks - +

メニュー「タグ」から「新規」ボタンを押します。

②タグの設定

- ・タグの種類:「**カスタムHTML**」を選択します。
- ・HTML:アクセストレードのCVタグを設定します。
- ※【マーチャント名】、【成果対象ID】はアクセストレードから発行されたものを ご設定ください。
- ※仕様書通りに変数を設定する場合は、以下の様に変数を{{}}で囲ってください。(例)"verify": {{verify}},

③トリガーの設定

<u>P7</u>で設定したCVタグトリガーを選択します。

▼設定例 : × CVタグ 保存 タグの設定 タグの種類 カスタム HTML <> カスタム HTML タグ html 🔞 1 <script> 2 var __atw = __atw || []; 3 __atw.push({ 4 "merchant" : " [マーチャント名] ", "param" ′ 5 "result_id" : "【成果対象ID】", 6 "verify" : {{verify}} 7 }}); 8 (function(a) {var b=a.createElement("script");b.src="https://h.accesstrade.net/js/nct/ ov.min.js";b.async=10; 9 a=a.getElementsByTagName("script")[0];a.parentNode.insertBefore(b,a)})(document); 10 </script> トリガー 配信トリガー 3 CVタグ 0

▼定額報酬用CVタグ

```
<script>
var __atw = __atw || [];
__atw.push({
"merchant":"【マーチャント名】", "param": {
"result_id": "【成果対象ID】",
"verify": {{verify}}
}});
(function(a){var
b=a.createElement("script");b.src="https://h.accesstrade.net/js/nct/cv.min.js";b.async=!0;
a=a.getElementsByTagName("script")[0];a.parentNode.insertBefore(b,a)})(document);
</script>
```

※【マーチャント名】、【成果対象ID】はアクセストレードから発行されたものをご設定ください。 ※上記はデータレイヤーで変数を設定する際の例です。

▼定率報酬用CVタグ

```
<script>
var __atw = __atw || [];
__atw.push({
"merchant":"【マーチャント名】", "param": {
"result_id":"【成果対象ID】",
"verify": {{verify}},
"value": {{verify}},
"value": {{verify}}
});
(function(a){var
b=a.createElement("script");b.src="https://h.accesstrade.net/js/nct/cv.min.js";b.async=!0;
a=a.getElementsByTagName("script")[0];a.parentNode.insertBefore(b,a)})(document);
</script>
```

※【マーチャント名】、【成果対象ID】はアクセストレードから発行されたものをご設定ください。 ※上記はデータレイヤーで変数を設定する際の例です。

▼商品個別報酬用CVタグ

```
<script>
var __atw = __atw || [];
__atw.push({
"merchant":"【マーチャント名】", "param": {
"result_id":"【成果対象ID】",
"verify": {{verify}},
"vi": {{vi}}
}});
(function(a){var
b=a.createElement("script");b.src="https://h.accesstrade.net/js/nct/cv.min.js";b.async=!0;
a=a.getElementsByTagName("script")[0];a.parentNode.insertBefore(b,a)})(document);
</script>
```

※【マーチャント名】、【成果対象ID】はアクセストレードから発行されたものをご設定ください。 ※上記はデータレイヤーで変数を設定する際の例です。

5.データレイヤーに変数を受け渡す設定

以下をGoogle タグマネージャーのスニペットコードの上にご設定ください。

変数の設定例については<u>P13</u>をご参照ください。

※本設定はGoogleタグマネージャー内で行うものではなく、サンクスページ上での設定が必要です。

※設定する変数は、タグの種類に合わせてご変更ください。(参照:<u>P5</u>)

▼ 定額報酬の場合	▼ 定率報酬の場合	▼ 商品個別報酬の場合
<script> window.dataLayer = window.dataLayer []; dataLayer.push({ 'verify': 'ここに識別子' }); </script> Google Tag Manager	<script> window.dataLayer = window.dataLayer []; dataLayer.push({ 'verify': 'ここに識別子', 'value': '売上金額' }); </script>	<script> window.dataLayer = window.dataLayer []; dataLayer.push({ 'verify': 'ここに識別子', 'vi': ["商品ID.商品数量.商品単価", "商品ID.商 品数量.商品単価"] }); </script>
		Google Tag Manager

5.データレイヤーに変数を受け渡す設定

以下例の様に、登録したデータレイヤー変数にサンクスページでの該当の値を設定します。

※以下は一例です。実際の設定については、広告主様のサイトの仕様に沿ってご対応ください。

※Google タグマネージャーのスニペットコードの上にご設定ください。

▼ 定額報酬の場合の設定例 ・注文番号:abcdefgの場合	▼定率報酬の場合の設定例 ・注文番号:abcdefg ・売上金額(税別、送料別):1,000円の場合	▼商品個別報酬の場合の設定例 ・注文番号:abcdefg ・100円の商品A(商品ID:aaa)を1個と 2,000円の商品B(商品ID:bbb)を2個購入
<script> window.dataLayer = window.dataLayer []; dataLayer.push({ 'verify': 'abcdefg' }); </script> Google Tag Manager	<script> window.dataLayer = window.dataLayer []; dataLayer.push({ 'verify': 'abcdefg', 'value': '1000' }); </script>	<script> window.dataLayer = window.dataLayer []; dataLayer.push({ 'verify': 'abcdefg', 'vi': ["aaa.1.100", "bbb.2.2000"] }); </script>
	Google Tag Manager	Google Tag Manager

6. GTMのプレビューモードにてタグの出力テストを実施

設定完了後、 Googleタグマネージャーの「プレビューモード」をオンに設定して、 実際の広告主様ページでテストを実施頂き、 設定されたタグが配信されているかご確認をお願い致します。

※プレビューモードについては公式ヘルプをご参照ください。



7. バージョンの作成と公開

ページ右上の「公開」ボタンを押下し、最新のバージョンを公開します。



以上の設定が完了しましたら、アクセストレード担当者へご連絡下さい。 アクセストレードにて成果テストを実施致します。

アクセストレードのテストで成果計測ができなかった場合、 原因確認のため以下キャプチャを担当者までご共有いただけますと幸いです。

)変数設定部分	②トリガー設定部分	③タグ設定部分	④プレビューのTags Fired
参照: <u>P6</u>	参照: <u>P7</u>	参照: <u>P8</u>	参照: <u>P14</u>
rty	Image: second	۲ ۲ ۲ ۲ ۲ ۲ ۲ ۲ ۲ ۲ ۲ 1	* *